

令和2年度 IT環境利用説明会及び 情報セキュリティガイダンス

令和2年4月10日
情報化統括本部

1. はじめに

- 本資料は、以下のとおり予定していた「令和2年度IT環境利用説明会及び情報セキュリティガイダンス」の代替措置としての説明資料です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会は中止となりました。
 - 令和2年3月31日(火) 学部新生向け「IT環境利用説明会及び情報セキュリティガイダンス」
 - 令和2年4月5日(日) 大学院新生向け「新生全研究科合同ガイダンス」の「IT環境利用説明会及び情報セキュリティガイダンス」

2. 情報環境利用案内

- 「情報環境利用案内(第7版)」【資料1】は、学内でコンピュータを利用できる場所、自分で持ち込んだコンピュータを利用できる場所、その他大学の提供する情報サービスについてその利用方法をまとめたものです。社会のルール、一橋大学のルールを守った上で、大学のサービスを存分に活用して、研究や勉学に役立ててください。また、この冊子に掲載したもの以外にも、各学部や研究科で独自に提供しているサービスもあります。それらについては所属の学部・研究科等に問い合わせてください。
- なお、PC等の教室設備については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を休止しています。今後の利用については、常に最新の状況をCELSまたは本学ウェブサイトにより確認してください。

2. 情報環境利用案内

- 「情報環境利用案内(第7版)」は、情報基盤センターのウェブサイトにも掲載しています。本ウェブサイトでは、「情報環境利用案内」よりも詳細な情報や新しいお知らせ、プリンタドライバのダウンロード、パスワード変更などのサービスを提供しています。



<https://cio.hit-u.ac.jp/ICTC>

3. 一橋認証IDとパスワード

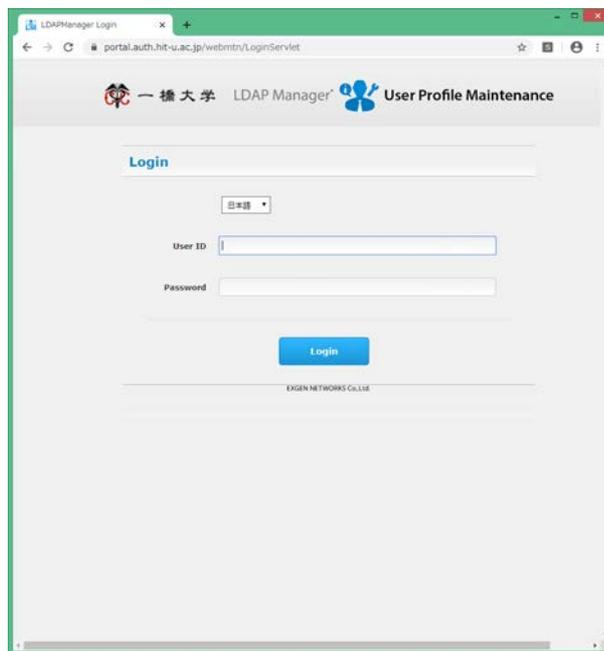
- 本学の情報サービスを利用する際には、大学が発行する一橋認証IDが必要です。一橋認証IDは入学時に交付されるユーザIDとパスワードの組み合わせです。

一橋認証IDを利用する主な学生向け情報サービス

- 学生用メール Gmail
- 学務情報システム CELS
- ポートフォリオシステム manaba
- 図書館オンラインサービス MyLibrary
- 情報教育棟端末
- 附属図書館端末
- CALL教室端末
- 1284Wireless(無線LAN)

3. 一橋認証IDとパスワード

- パスワードの変更は自分でできます。
- 情報基盤センターのウェブサイトの「ID Maintenance」からも辿れます。



<https://portal.auth.hit-u.ac.jp/>

3. 一橋認証IDとパスワード

- ID・パスワードを守るために、最低限、以下の3つを守ってください。
- 1つ目は、「パスワードを他人に教えない」。
 - システム管理者を語ってパスワードを教えるよう言ってくる詐欺には引っかけられないで下さい。
 - フィッシングといって、実在する金融機関(銀行・クレジットカード会社)やショッピングサイトを装ってメールを送り、それらの公式サイトにそっくりな偽サイト(フィッシングサイト)に誘導することで、巧みにIDやパスワードなど個人情報を盗み出す詐欺手法があります。ご注意ください。
 - 一橋認証IDを他人に使用させることは禁止されています。
 - 友人にも一橋IDのパスワードを教えないでください。

3. 一橋認証IDとパスワード

- ID・パスワードを守るために、最低限、以下の3つを守ってください。
- 2つ目は、「他人に推測されにくいパスワードを設定する」。
 - 以下は、推測されやすいパスワードの典型例です。間違っても使ってはいけないパスワードです。また、辞書に載っている単語だけの組み合わせや、誕生日、電話番号、メールアドレスの流用等は避けましょう。更に、最近のPCの高速化を踏まえると、ログインパスワードは2種(できれば3種)以上の種類(英語大文字、小文字、数字、記号)の組み合わせで10文字以上、ファイルを暗号化するパスワードは15文字以上あったほうが安全です。

The 25 worst passwords of 2019(セキュリティー・サービス会社SplashDataによる)

1位 123456	6位 12345678	11位 abc123	16位 654321	21位 888888
2位 123456789	7位 12345	12位 qwerty123	17位 555555	22位 princess
3位 qwerty	8位 iloveyou	13位 1q2w3e4r	18位 lovely	23位 dragon
4位 password	9位 111111	14位 admin	19位 7777777	24位 password1
5位 1234567	10位 123123	15位 qwertyuiop	20位 welcome	25位 123qwe

3. 一橋認証IDとパスワード

- ID・パスワードを守るために、最低限、以下の3つを守ってください。
- 3つ目は、「使いまわさない」。
 - 違うシステムに同じパスワードを使うと、そのパスワードから情報漏えいしたり、フィッシングサイトに引っかかって入力した場合、同じパスワードを使っていた他のシステムにも不正アクセスされる可能性があります。特に、一橋認証IDのパスワードを、他のシステムと同じにすることは厳禁です。

4. 情報教育棟の閉館について

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情報教育棟を閉館いたします。
- 閉館期間: 令和2年4月2日(木)～令和2年7月31日(金) (終了日は予定)
- 留意事項:
 1. 2020年度・春夏学期(集中講義を含む)において、情報教育棟演習室での授業はありません。
 2. 利用相談員による、情報教育棟に関する対面の利用相談は休止いたします。学生の皆様からの利用相談はメール「support-kyoikutoh [at] cio.hit-u.ac.jp」([at] は @ に置き換えてください。)で行います。

(次ページに続く)

4. 情報教育棟の閉館について

- 留意事項(続き):

3. 情報教育棟の閉館期間中に一橋認証IDのパスワード再発行が必要な場合、学部生は教務課に電話、大学院生は各研究科事務室にメールし、指示に従ってください。なお、速やかな再発行が困難となるため、一定の時間的余裕をもってご相談ください。(電話・メールでのパスワード再発行について、情報基盤センターでは対応できません。)

担当部署	連絡先([at]は@に置き換えてください。)
教務課 教務第2係	042-580-8114
経営管理研究科事務室 教務担当	hub-km.g [at] dm.hit-u.ac.jp
経済学研究科事務室 教務担当	ec-kyomu [at] econ.hit-u.ac.jp
法学研究科事務室 教務担当	law-km.g [at] dm.hit-u.ac.jp
社会学研究科事務室 教務担当	soc-km.g [at] dm.hit-u.ac.jp
言語社会学研究科事務室 教務担当	lan-km.g [at] dm.hit-u.ac.jp
国際・公共政策大学院(IPP)	info-ipp [at] dm.hit-u.ac.jp

4. 情報教育棟のサービスの再開、変更がありましたら、順次お知らせいたします。

5. インターネット利用環境及びパソコンの準備について

- 2020年度・春夏学期の授業については、映像配信で行いますので、学生の皆さんは、映像配信授業を自宅等でも受講できるよう大容量の動画を視聴することができるインターネット利用環境及びパソコンの準備に努めてください。

https://www.hit-u.ac.jp/students_info/7420

6. Office 365の利用について

- 本学の学生は、マイクロソフト社のオフィススイートである Microsoft Office 365 ProPlus をインストールして利用することができます。
- 本サービスは、一橋大学とマイクロソフト社との教育機関向け総合契約(EES契約)によるものです。契約が解除された場合は利用できなくなります。

6. Office 365の利用について

- 製品概要
 - Word, Excel, PowerPointの最新版
 - これ以外のアプリケーションの利用については、本学としてサポート・継続的な保証をしていません。
- 対象者
 - 本学に所属する学生で <認証ID>@g.hit-u.ac.jp のメールアドレスを有する者は、本学在籍中に限り利用できます。
- 対象機器
 - PC、タブレット、スマートフォンに最大各5台ずつ、合計15台のデバイスにインストールすることができます。

6. Office 365の利用について

• インストール方法

- 日本マイクロソフト社の以下のサイトから、<認証ID>@g.hit-u.ac.jp のメールアドレスを用いてセルフサインアップ(氏名とパスワードの登録)を行い、サイト記載の手順に従って必要なファイルをダウンロード、インストールして下さい。
- Office 365 セルフサインアップサイト <http://aka.ms/o365self>
- パスワードは自己登録です。一橋認証IDのパスワードを使いまわさないようにしてください。
- 個人情報の入力を求められる欄があっても、個人情報を入力する必要は必ずしもありません。漏えいリスクの低減の観点から、特段理由がなければ、ダミーの情報を入れることを検討してください。
- サインアップ後にインターネットに接続されない環境が1ヶ月以上続くと、読み取り専用モードになります。この場合、インターネットに接続された環境でID・パスワードを入力して「再アクティブ化」を行って下さい。

• パスワードを忘れたら

- 日本マイクロソフト社のOffice 365セルフサインアップサイトでリセットすることができます。
(参考)http://faq.mypage.otsuka-shokai.co.jp/app/answers/detail/a_id/281025/

6. Office 365の利用について

- 本件問い合わせ
 - Office 365 Education セルフサインアップサイト (Microsoft)
<http://aka.ms/o365self>
 - 日本マイクロソフトサポート窓口 0120-54-2244
受付時間: 平日9:00-18:00 土/日曜日10:00-18:00 (祝日、同社指定休業日を除く)
 - 「Student Use Benefit」を利用したい旨をお伝えください。
 - Officeのダウンロードやインストールなどユーザーの利用開始手順までをサポート。
 - E-mail (一橋大学)
[ms.ees-group \[at\] cio.hit-u.ac.jp](mailto:ms.ees-group@cio.hit-u.ac.jp) ([at] は @ に置き換えてください。)

7. サイバーセキュリティ対策について

- サイバーセキュリティ事故を防ぐには、各個人の心がけが最も重要です。サイバーセキュリティ対策を怠ると、被害者だけではなく加害者になってしまうこともあります。主要な対策項目を【資料2】に示します。
- 特に一橋認証ID及びパスワードについては、【資料3】のとおり、管理を徹底してください。

8. 情報倫理・リテラシーについて

- 近年、SNS、個人のブログ、Twitter等において、自らの不注意な書き込みにより社会的問題になるケースが多く見受けられます。SNS、個人のブログ、Twitter等は不特定多数の人が閲覧可能であり、書込みの表現しただけでは、予想外の誤解を他人に与え、他人や大学に迷惑を及ぼす可能性もあり、さらには違法な行為と判断される場合もありますので、十分注意してください。
- 講義の教材やスライド等について、みだりに複製して第三者に共有したり、ウェブにアップロードすることは、著作権の侵害になる可能性がありますので、厳に慎んでください。
- オンラインで配信される講義を無断で録画・録音し、第三者に共有したり、ウェブにアップロードすることも同様です。
- オンラインで配信される講義にアクセスするためのURLや会議ID/コード、パスワード等を、第三者に共有しないでください。
- その他、オンライン授業の受け方や留意すべき事項について追加があれば、周知します。

情報環境 利用案内

(第7版)



この冊子は、学内でコンピュータを利用できる場所、自分で持ち込んだコンピュータを利用できる場所、その他大学の提供する情報サービスについてその利用方法をまとめたものです。社会のルール、一橋大学のルールを守った上で、大学のサービスを存分に活用して、研究や勉学に役立ててください。
また、この冊子に掲載したもの以外にも、各学部や研究科で独自に提供しているサービスもあります。それらについては所属の学部・研究科等に問い合わせてください。

目次

1.	一橋認証 ID	1
	パスワードの変更	
	一橋認証 ID パスワードの再発行	
2.	カード利用プリンタ	3
	設置場所	
	カード利用プリンタでのプリントジョブ出力操作	
3.	1284Wireless（無線 LAN）	6
	利用方法	
	利用可能な場所	
4.	一橋大学の情報環境	7
	利用できるサービス	
	利用可能な場所	
5.	メール	10
	Gmail について	
	Gmail の利用	
	迷惑メール対策	
6.	情報教育棟	11
	利用相談	
	アプリケーションソフトの利用	
7.	附属図書館	12
	インターネット端末	
	オープンアクセスフロア	
	電子機器等の利用場所	
	その他の端末	
付録		13
	情報基盤センターのシステム利用に関して	

1. 一橋認証 ID

本学の情報サービスを利用する際には、大学が発行する一橋認証 ID が必要です。一橋認証 ID は入学時に交付されるユーザ ID (USERID、ユーザ名、USERNAME、ログイン名などと表示されます) とパスワードの組み合わせです。

一橋認証 ID は在籍期限日から 60 日後まで本学の情報サービスに有効です。^{*1}

- 在籍期限日は、学務・人事の諸システムの値から自動算出されます。在籍月の末日ではなく、課程修了日や人事発令日からの起算となりますのでご注意ください。
- 進学等で新たな ID が発行される場合、旧 ID は前課程修了から 60 日で失効します。有効期間内に各自でデータ移行してください。

◎パスワードの変更

1. <https://portal.auth.hit-u.ac.jp/> にアクセスすると右の画面になります。情報基盤センターのサイト「システムの利用について^{*2}」の「認証ID Management」からアクセスすることもできます。一橋認証 ID のユーザ名とパスワードを入力し、「Login」を選んでください。
2. 右のメニューから、「Change Password」を選んでください。
3. 右の画面で新しいパスワードを「New Password」「Confirm New Password」欄に入力し、「保存」を選択してください。確認の表示がされたら、「OK」を選んで処理を続行してください。

ID メンテナンスサイトへのログイン

ID メンテナンスサイトメニュー

新しいパスワードの入力

*1 本学の情報システムのうち情報基盤センター以外のサービスについては、有効期限が異なることがあります。

*2 <https://cc.hit-u.ac.jp/>

◎ 一橋認証 ID パスワードの再発行

一橋認証 ID のパスワードを失念してしまった場合には、パスワードの再発行を受ける必要があります。情報教育棟で再発行を受け付けています。IC カード学生証を持参のうえ、1 階の自動再発行機を利用してください。学生証が IC カードでない場合は、2 階の管理室で再発行を受けてください。

一橋認証 ID を利用するシステムにログインできない場合

1. ID メンテナンス (<https://portal.auth.hit-u.ac.jp/>) にログインしてください。
2. このサイトにログインできなかった場合、ユーザ ID またはパスワードが違いますので、ユーザ ID とパスワードをもう一度お確かめください。
3. このサイトにログインできた場合、ユーザ ID とパスワードには問題ありませんので、各利用システムにトラブルがある可能性があります。必要に応じて、それぞれのシステム運用担当にお問い合わせください。

運用担当	システム
情報基盤センター	情報教育棟端末、学生用メール (Gmail)、1284Wireless (無線 LAN)
附属図書館	附属図書館インターネット端末、MyLibrary
教務課	学務情報システム CELS、ポートフォリオシステム manaba
研究・社会連携課	研究者データベース

2. カード利用プリンタ

カード利用プリンタは、大学配付のコピーカード、生協のコピーカードなどを利用して印刷できるプリンタです。端末から印刷を指示（プリントジョブを送信）した後、カード利用プリンタにコピーカードをセット、パネル上でプリントジョブを選択することで、用紙へ印刷できます。

◎設置場所

カード利用プリンタの設置場所は下表の通りです。

設置場所	大学コピーカード利用	生協コピーカード利用
情報教育棟	1台	2台
附属図書館	-	2台

カード利用プリンタ設置場所



生協コピーカード

◎コピーカードによる印刷

印刷に必要な大学配付のコピーカードの度数、生協のコピーカードの料金は下表の通りです。用紙1枚の両面印刷は2面の印刷となります。

	大学コピーカード利用	生協コピーカード利用
白黒 (A4, A3)	1度数	10円
カラー (A4, A3)	5度数	50円

面当たりの必要度数・料金 (2020年4月現在)



大学コピーカード (例)

紙詰まりや印刷されない場合、プリンタ付近の掲示に従い、ご相談ください。

生協コピーカードを用いて印刷し、印刷はされたが結果がおかしい（白紙が出た、余計な線が入ったなど）場合、返金の措置がとられることもあります。出力された紙とコピーカードを持参し、生協にお問い合わせください。

◎Windows 端末からの印刷指示手順

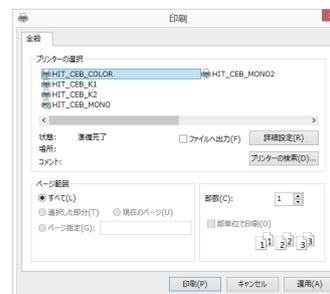
1. アプリケーションのファイルメニューから印刷を選択します。
2. 印刷ダイアログで印刷を行うプリンタを選択します (右図)。

選択したプリンタからしか印刷出力はできません。

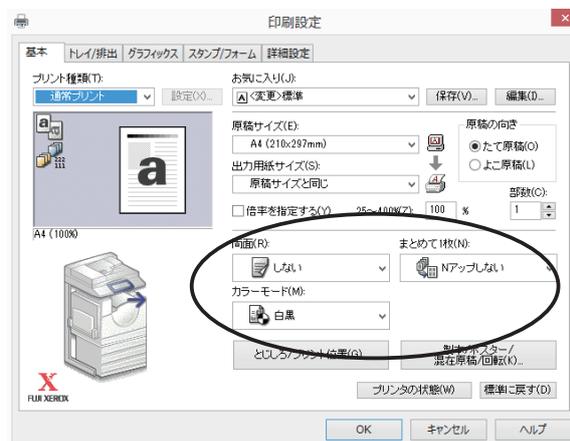
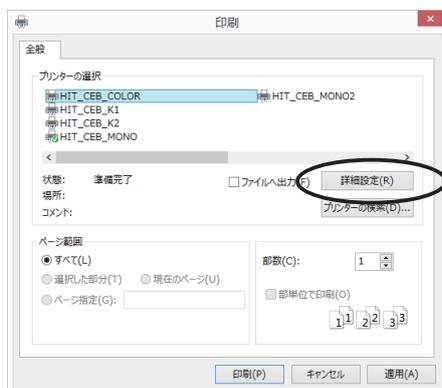
混雑時には、空いているプリンタから印刷することをおすすめします。

3. 印刷オプションを必要に応じて変更します。

印刷オプションを設定したい場合は、印刷ダイアログの詳細設定、または「プリンターのプロパティ」（Microsoft Office など）を選択して、各項目を選択して設定してください。Nアップ、両面設定、カラー／白黒は、基本項目より設定できます (下図)。

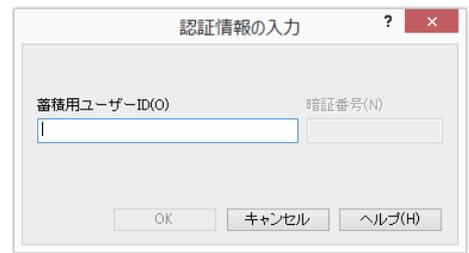


印刷先プリンタの選択



印刷オプションの設定 (基本項目)

- OK ボタンを押して、プリントジョブの送信を開始します。
- 蓄積用ユーザー ID を入力します。プリントジョブの送信を開始すると認証情報の入力ダイアログ (右図) が端末に表示されます。入力ダイアログは他のウィンドウの後ろに隠れることもあります。蓄積用ユーザー ID を入力して OK ボタンを押してください。蓄積用ユーザー ID の最大文字数は、24 バイト (半角で 24 文字、全角で 12 文字) です。なお、蓄積用ユーザー ID と暗証番号は、一橋認証 ID (→ p.1) のユーザ名、パスワードとは無関係です。蓄積用ユーザー ID はプリンタのパネルに表示されるため、あとから区別しやすいように、名前を入れることをお勧めします。
- 暗証番号を入力します。続いて認証情報の入力ダイアログに、任意の暗証番号 (数字のみ 1 ~ 12 桁) を入力してください。数字以外の文字を入力するとエラーとなります。
- カード利用プリンタにてジョブ出力操作を行い、印刷します。



プリントジョブ認証情報の入力ダイアログ

<注意>

- 蓄積用ユーザー ID は、一橋認証 ID (→ p.1) とは無関係です。プリンタのパネルからプリントジョブを選択する際に用いますので、名前など、識別し易い ID にしてください。また、暗証番号は忘れないようにしてください。暗証番号を忘れると、プリンタ側で出力することができません。
- プリンタに送信されたジョブは、1 時間を経過するとプリンタ側で自動削除されます。端末から印刷指示した場合は、1 時間以内に、プリンタ側で印刷を行ってください。

◎カード利用プリンタでのプリントジョブ出力操作

印刷操作の流れ

- プリンタのパネルでプリントまたはコピー中でないことを確認します。
- プリンタのカードディスパンサーにカードを挿入し、出力したい枚数分の度数が残っているか、残度数を確認します。
- カード利用プリンタにて、蓄積 ID と暗証番号を入力してログインし印刷ジョブを表示させます。
- プリントしたいジョブを選択し、プリント実行ボタンを押します。
- 印刷がすべて終了したら、カードを取り出します。



プリンタのジョブ確認画面

印刷操作の詳細

- カードを挿入する前に、必ず処理中ではないことを確認してください。

【確認方法】

カード利用プリンタから用紙が出力されていないことを確認してください。

プリント端末画面が「プリントしています」という画面になっていないこと、および、プリンタのコントロールパネルで「ジョブ確認」ボタンを押して、実行中のジョブがないことを確認してください (右図)。

もし、ジョブが残っている場合には、59 秒間待つかジョブを選択してストップボタンを選びジョブを中止してください。

2. ディispenserにコピーカードを挿入し、出力したい枚数分の度数が残っているか、残度数を確認してください（下図）。

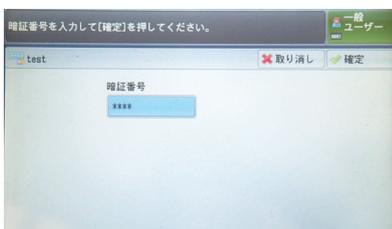


＜注意＞

プリント途中でプリペイドカードの残度数が0または度数が足りなくなった場合には、プリントが一時停止されます。新しいカードを挿入して、プリントを続行させてください。59秒以内に新しいカードを挿入しない場合には、ジョブがキャンセルされます。

両面印刷の場合は、両面を印刷するための度数分、残度数が必要です。

3. 「認証プリント」ボタンを押すと認証プリント画面が表示されるので、端末で印刷時に指定した蓄積IDを選択して、文書確認/プリントボタンを選んでください。（右図）



暗証番号の入力

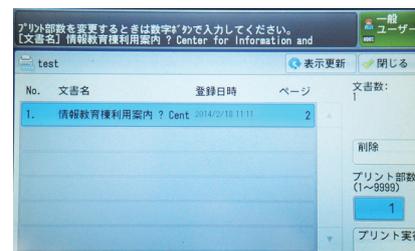
続いて、印刷時に設定した暗証番号を入力し、確定ボタンを押してください。（左図）



蓄積IDの選択

4. 印刷する文書を選択し、必要に応じてプリント部数を指定して、プリント実行ボタンを押してください（右図）。プリントが開始されます。

印刷途中で、コピーカードの残度数が無くなったら、新しいカードの挿入を要求するメッセージ画面（下図）が表示されます。



プリント実行

プリントを一時停止しました。
ゼロックスカードを入れてください。

プリントを中止するときは「クリア (C)」ボタンを押してください。

カード度数不足時のメッセージ

59秒以内に新しいカードを挿入してください。59秒を過ぎると、自動的にジョブが削除されます。

5. 印刷がすべて終了したら、必ずカードを取り出してください（右図）。



カードの取り出し

◎プリンタ設置場所端末以外からの印刷

情報教育棟、附属図書館のカード利用プリンタは、学内PC・持込PCから印刷を行うことができます。詳しくは情報基盤センターのサイト「システムの利用について」の「Windows PC/Printer」から「Printer^{*1}」をご覧ください。

*1 <https://cc.hit-u.ac.jp/clients/printer>

3. 1284Wireless (無線 LAN)

学内無線 LAN 環境「1284Wireless (ひとつばしワイヤレス)」は、大学の教室内において無線でインターネットに接続ができるサービスです。無線 LAN 機能を持つパソコンやタブレット端末で利用できます。なお、授業中のパソコン利用については、担当教員に確認してください。



1284Wireless ステッカー

◎利用方法

無線 LAN への接続方法は、お使いの機器により異なりますので、各機器のマニュアルを参照してください。1284Wireless へ接続するための設定情報 (SSID、暗号化キー) は、ステッカー (上図) に記した Web サイト^{*1}をご覧ください。

利用上の注意

1284Wireless は、インターネットに接続するサービスです。常にコンピュータウイルスへの感染や、不正アクセスによる攻撃を受ける可能性があります。ウイルス対策ソフトを導入し常に最新の状態に保つなどセキュリティには十分注意してください。

なお、このサービスを利用した通信は、一橋大学からの通信として外部に通知され、大学内においても利用者情報とともに記録しています。

◎利用可能な場所

国立キャンパス (次ページ図をご覧ください)

法人本部棟	3F、4F、7F (各会議室付近)
保健センター	
兼松講堂	
本館	2F～3F 全域、1F 教員室、会議室、キャリア支援室
第一講義棟・第二講義棟	1F～4F 教室、ゼミ室全域
時計台棟	時計台棟コモンズ付近
図書館本館	1F、2F (大閲覧室を含む)、3F
雑誌棟	1F～2F、4F～5F
第一研究館	1120 付近
西プラザ	1F 食堂、2F 喫茶
磯野研究館	118、320 付近
イノベーション研究センター	2F 会議室付近
情報教育棟	ラウンジ等
東本館	2F 教室
第三研究館	1F ラウンジ、3F 会議室付近
東二号館	2F～3F 教室全域、1F ラウンジ、3F 東学習室
東一号館	1F～4F 教室、ゼミ室、ラウンジ、1F 教員室
国際研究館	1F ラウンジ、2～5F 教室、会議室付近
東プラザ	2F カフェテリア
マーキュリータワー	低層棟 1F～3F 全域 高層棟 1F～2F 教室全域、3F～6F ラウンジ他、7F 会議室、マーキュリーホール
インテリジェントホール	

千代田キャンパス

各フロア (一橋講堂、ゲストルームを除く)
学術総合センターの 1F、4F～9F 本学専有エリア各所

*1 <https://1284w.cc.hit-u.ac.jp/>

4. 一橋大学の情報環境

◎利用できるサービス

利用できるサービスとして、以下のようなものがあります。

- ・ 情報教育棟端末
- ・ 学生用メール (Gmail)
- ・ 1284Wireless (無線 LAN)
- ・ 学務情報システム CELS
- ・ ポートフォリオシステム manaba
- ・ 附属図書館インターネット端末
- ・ 附属図書館 MyLibrary

1284Wireless (無線 LAN)

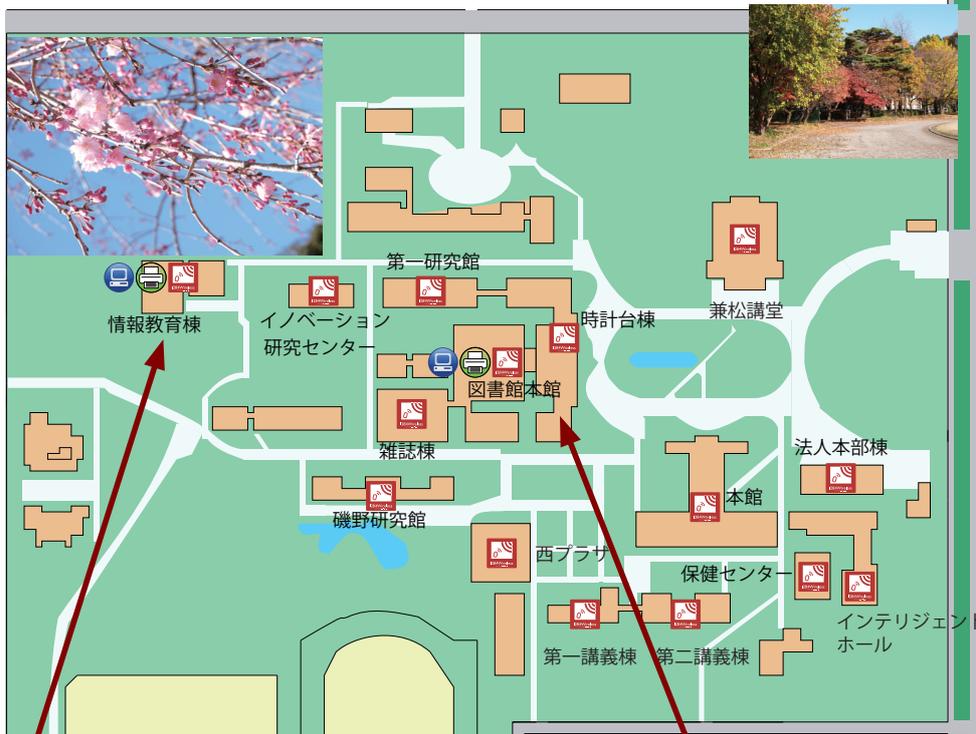


無線 LAN ステッカーの貼ってある学内各所で利用できます。
詳しくは 3.1284Wireless(無線 LAN) をご覧ください。

◎利用可能な場所

端末とプリンタなどが配置されています。

場所	端末	カード利用プリンタ
情報教育棟	○	○
附属図書館	○	○
東学習室 (東2号館3階)	○	×



情報教育棟

情報教育棟は全館で無線 LAN が利用でき、演習室には教育・研究のために端末を設置しています。

利用時間 月～金曜日 (祝祭日を除く)
 授業期間中：8:30～18:00
 授業期間外：8:30～17:00
 毎月第2水曜日の13:00以降は定期保守のため利用できません。

詳しくは 6. 情報教育棟 をご覧下さい。



附属図書館

附属図書館には、情報教育棟と同じ端末があり、ウェブブラウザや Microsoft Office などのアプリケーションの利用ができます。定期保守時間は情報教育棟と同じです。

詳しくは 7. 附属図書館 をご覧下さい。



学務情報システム CELS

学務情報システム CELS(セルズ) はシラバス確認、履修登録、成績確認など、授業の履修に関わる手続き等を Web 上から行うことができるシステムです。

→ 次ページへ

ポートフォリオシステム manaba

ポートフォリオシステム「manaba (マナバ)」では、授業毎に Web での配付資料の確認、レポート提出、小テスト回答などを行えます。その他、学部生向けのお知らせの確認、留学や教職などの手続きでも manaba を利用します。

→ 次ページへ

MyLibrary

MyLibrary は、インターネット上で附属図書館の様々なサービスを利用できる個人向けポータルサイトです。

→ 次ページへ



東学習室



LL 自習室

東学習室 (東 2 号館 3 階)

利用時間 月～金曜日 9:30～16:45 (授業のない祝祭日を除く)

東 2 号館 3 階東学習室には、学習用閲覧機と、LL 授業教材・語学教材を使った学習、インターネットの閲覧やレポート等の文書作成ができる自習用 PC を設置しています。受付での利用・終了手続きが必要です。

東学習室自習ブース

東学習室の北側に、語学学習を目的とした自習用 PC ブースを設けています。話速変換機能付ソフトウェアレコーダ等、LL 教室と同様のツールを用いた語学学習が可能です。

LL 自習室

東学習室内の LL 自習室には自習用ブースが計 13 台あります。外国語科目の言語を含め、50 以上の言語の自習用教材を用意しています。また TOEIC や TOEFL などといった、語学能力試験のための教材も揃えてあります。マルチメディア教材を利用した語学学習も可能です。なお教材利用は LL 自習ブース内に限ります。

学務情報システム CELS

CELS（セルズ）では、シラバス検索・閲覧、履修登録・確認、成績確認など、授業にかかわる手続きを Web 上で行うことができます。

CELS の利用 ID

CELS の機能を学部生が使うためには、一橋認証 ID が必要となります。学部生の一橋認証 ID 通知は、入学後のクラス別面接にて配付されます。通知を受け取っていない学部生は教務課教務第二係までお問い合わせください。

ログイン・ログアウト

CELS を利用するには、

<https://cels.hit-u.ac.jp>

へアクセスして、ログイン画面へ移動し、一橋認証 ID を入力しログインしてください。

CELS 利用終了後には画面右上の「ログアウト」を選択し、ログアウトしてください。

ログインがうまくいかない方は、パスワードが正しいか確認してください。

ポートフォリオシステム manaba

manaba 上では、レポートの提出、テスト・アンケートの回答、資料の閲覧が可能です。

（その他、就職支援、学部生の留学申請から報告、教職課程でも利用するほか、学部生向けのお知らせも掲載しています。）

提出したレポートやテスト、報告書は学生一人一人のポートフォリオに蓄積され、試験対策や授業の予習・復習に活用するだけでなく、学生がいつでも一橋大学で蓄積した経験、知識を振り返ることが可能となっています。履修登録前に、受講中の科目の情報へアクセスする場合はあらかじめ CELS 上で manaba コースへのメンバー申請をする必要があります。申請方法については、CELS のマニュアルを参照してください。

MyLibrary

MyLibrary を利用するには、次の URL へアクセスし、一橋認証 ID を使ってログインしてください。

<https://opac.lib.hit-u.ac.jp/mylibrary/>

ログインすると、利用者別に異なるメニューが表示され、次のようなサービスが利用できます。

- ・貸出や予約状況の確認・延長と貸出履歴照会
- ・図書購入申込みと状況照会
- ・学外への文献複写・現物貸借申込みと状況照会
- ・キャンパス外からの電子ジャーナル、DB へのアクセス（一部のみ）
- ・連絡用 E-mail アドレスの登録・変更・削除
- ・グループ学習室の利用予約と状況照会
- ・リマインダーメール（返却期限日前通知メール）サービス
※学部生・大学院生（聴講生を含む）は設定済です。
- ・ブックマークの作成・保存
- ・新着図書アラートサービスの登録・確認

5. メール

◎Gmail について

一橋大学では、学生、研究者向けに Gmail によるメールサービスを提供しています。Gmail は、Google 社が提供する電子メールサービスです。

一橋大学の学生は、次の形のメールアドレスを利用できます。

{USERNAME}@g.hit-u.ac.jp

※ {USERNAME} には、一橋認証 ID のユーザ名（学籍番号のアルファベットを小文字表記したもの）を当てはめてください。

一橋大学の研究者は、次の形のメールアドレスを利用できます。

{USERNAME}@r.hit-u.ac.jp

※ {USERNAME} には、一橋認証 ID のユーザ名を当てはめてください。

また、常勤の研究者は、一橋認証 ID メンテナンスサイト^{*1} から、別名を設定することができます。一度設定した別名を変更することはできませんので、注意してください。別名からメール送信を行う方法などは、**情報基盤センター**のサイト「**システムの利用について**」の Support Q&A^{*2} をご覧ください。

読み書きするメールは、Google 社の管理するクラウドに置かれます。個人情報やメールの内容は適切に扱われるよう契約を結んで運用していますが、学外の企業の運用するコンピュータで管理されていることを理解した上で利用してください。

メールの有効期限は在籍期限日から 60 日後です。

◎Gmail の利用

1. Gmail を開始するには、Web ブラウザを用いて以下にアクセスして下さい。

学生	「システムの利用について」 (https://cc.hit-u.ac.jp/) トップの「Gmail」から「続ける (@g.hit-u.ac.jp)」または http://mail.g.hit-u.ac.jp/
研究者	「システムの利用について」トップの「Gmail」から「続ける (@r.hit-u.ac.jp)」または http://mail.r.hit-u.ac.jp/

2. メールアドレスとパスワードを入力して「ログイン」を選択してください。別名を設定している研究者も、一橋認証 ID のユーザ名によるメールアドレスを入力してください。なお、初回ログイン時には、画面に表示された文字を読み取り、入力する必要があります。

3. 一般の Gmail 画面 (<https://mail.google.com>) から同様にログインできます。
ログイン後は、一般の Gmail と同様に利用できます。

◎迷惑メール対策

- ・ 広告などの迷惑メールは、自動的に「迷惑メール」として分類され、30 日後に削除されます
- ・ 受信トレイに迷惑メールが表示された場合は、そのメールを選択して「迷惑メールを報告」を選択してください。
- ・ 迷惑メールの判定は機械的に行われるため、誤判定されることもあります。

定期的に迷惑メールフォルダを確認して、必要なメールが迷惑メールとして扱われていないことを確認してください。誤判定されたメールを見つけた場合には、そのメールを選び「迷惑メールではない」ボタンを選択します。

*1 <https://portal.auth.hit-u.ac.jp/>

*2 <https://cc.hit-u.ac.jp/qa/gsuite>

6. 情報教育棟

教育・研究のために、演習室に PC 端末を設置しています。設置端末および持ち込み PC から印刷可能なプリンタも設置しています。情報教育棟 Web サイトには、より多くの情報を掲載しています。

開館時間

授業期間中：8:30～18:00（月曜～金曜）

授業期間外：8:30～17:00（月曜～金曜）

授業等の特別臨時利用がある場合は上記時間外も開館しますが、自由利用はできません。

- ・ 毎月第2水曜日の13:00以降は定期保守のため利用できません。
- ・ その他、臨時に休館することがあります。掲示や情報教育棟 Web サイトなどで確認してください。

◎演習室と端末

場所	端末数	備考
演習室 11	41	授業利用が主
演習室 13	1	利用相談員、持ち込み PC 等利用スペース
ラウンジ	—	カード利用プリンタ 3 台

- ・ 授業で使用されていない場合は自由利用可能です。
- ・ 室内飲食禁止です。
- ・ 図書館と同じ端末が設置されています。次ページの「利用にあたっての注意点」を参照してください。なお、演習室の端末は自動ではロックされず、手動ロック後 15 分で自動シャットダウンされます。

◎利用相談

情報教育棟の利用に関してわからないことがある場合、まずは情報教育棟 Web サイトをご覧ください。それでも解決しない場合には、メールあるいは情報教育棟にて口頭でご相談ください。

メール support-kyoikutoh@cio.hit-u.ac.jp

情報教育棟

利用相談に加えて、プリンタの用紙切れ、忘れ物、教育棟機器の故障等のトラブルも受け付けています。

- ・ 演習室 13：利用相談員（授業期間中の 10:00～18:00、休日授業日を除く）
- ・ 2 階管理室：技術補佐員 利用相談員が不在のときはこちらへ

◎アプリケーションソフトの利用

基本的な操作方法

情報教育棟の端末の操作方法は、基本的に通常の Windows と同じです。詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプ、インターネット、市販の書籍等を参照してください。日本語入力と英語入力は、キーボード左上の「半角/全角キー」で切り替えることができます。日本語はローマ字で入力し、スペースキーで変換されます。アプリケーションの起動は、デスクトップのアイコンをクリックするか、「スタート」メニューから行います。

利用できるアプリケーション

端末では、Microsoft Office や統計ソフトウェアなどのアプリケーションが利用できます。最新情報は、情報基盤センターの「システムの利用について」にてご確認ください。

ファイルの保存

情報教育棟の端末はハードディスクを内蔵していないため、端末の電源を切ったときにすべての情報が消えてしまいます。残しておきたいファイルは、C ドライブやデスクトップなどに置かず、Google ドライブまたは USB メモリ等に保存してください。



7. 附属図書館

使用方法など詳細については、附属図書館 Web サイト^{*1}をご覧ください。

不明な点については、図書館本館 1 階ヘルプデスクにお問い合わせください（平日 9:00 ～ 17:00）。

◎インターネット端末

「情報教育棟」と同じ端末が設置されており、Web ブラウザや Microsoft Office などのアプリケーションの利用ができます。定期保守時間も情報教育棟と同じです。

設置場所、台数

- ・ 図書館本館 1 階情報検索コーナー 50 台

利用にあたっての注意点

- ・ 利用には、一橋認証 ID が必要です。
- ・ 荷物を置いたまま席を離れないでください。
- ・ 何も操作がないと、15 分間で自動的にシャットダウンされます。自動シャットダウン時には、そのとき作業していた文書の保存などが行われないう可能性がありますので、必ず USB メモリ等に保存しながら作業してください。
- ・ 印刷は有料です。「カード利用プリンタ」の項目を参照してください。
- ・ 使用後は確実にシャットダウンしてください。

カード利用プリンタ

- ・ 生協コピーカード利用のモノクロプリンタとカラープリンタが各 1 台あります。

◎その他端末

- ・ カウンターでノート PC の貸出を行っています。館外には持ち出せません。
- ・ 附属図書館をはじめ学内図書室の蔵書を検索できる蔵書検索端末が館内の各フロアに設置されています。蔵書検索端末から MyLibrary は使用できません。

◎電子機器等の利用場所

- ・ 雑誌棟 3 階閲覧室を除く館内各所で、電子機器類を使用いただけます。雑誌棟 3 階閲覧室は静粛エリアとさせていただきますので、ここでの電子機器類の使用はご遠慮ください。
- ・ ただし、図書館内でのスマートフォン、携帯電話または PHS 等を用いた通話は厳禁です。

※ 電子機器とは、パソコン、電卓、携帯音楽（映像）プレーヤー、スマートフォン、携帯電話、その他携帯情報端末を指します。

◎1284Wireless(無線 LAN)

下記の場所では、一橋認証 ID を使って 1284Wireless に接続できます。

図書館本館 1F、2F(大閲覧室を含む)、3F

雑誌棟 1F~2F、4F~5F



*1 <https://www.lib.hit-u.ac.jp/>

付録

◎情報基盤センターのシステム利用に関して

情報基盤センター（以下センターという）のシステムを利用する際は、センターの方針を理解した上で注意事項を守って利用して下さい。

センターはこれらを守らない利用者に対して、利用機能の制限、停止などの措置をとることがあります。決して他の組織に迷惑をかけるような事はしないで下さい。

情報処理・教育システム及びネットワークの利用についてのセンターの方針

1. センターは、電子メール、Web 等に於いても他のメディアを利用する場合と同様に、思想、信条の自由、表現の自由及び通信の自由等を、できる限り確保したいと考えています。情報の内容、公開等に関してはそれを発信した者が責任を負わなければなりません。

2. 違法行為、公序良俗に反する利用、運用システムの破壊行為、不正利用等、本学の教育、研究利用の趣旨に反する利用が確認された場合には、管理者はファイルの強制閲覧、削除及びセンターシステムの利用停止等の処置を、場合によっては利用者に予告することなく行なわざるを得ません。また悪質な利用者に対しては大学としての処分もあります。学内ネットワークは、一橋大学の申請のもとに SINET（学術情報ネットワーク）に接続されています。不正に利用する者がいる場合、一橋大学全体の学外接続が停止される事もあります。

3. システムの障害等によって利用者の作成したファイル等は失われることがあります。ネットワークの障害によってメールの送受信や Web の閲覧ができないことがあります。ホームページ等で個人情報を公開する事によりプライバシーが侵害されることがあります。センターはシステムの利用によって生じる如何なる損害に対しても、一切責任を負いません。

利用に際しての遵守事項

(1) 教育・研究を目的とすること
センターの計算機設備は、研究、教育（学習）、事務及びそれらを支援するためのものです。一般のプロバイダとは違って、研究、教育、事務以外の目的の利用はできません。利用者登録は「情報基盤センターの設備を利用して好きなことを何でもやってよい権利」を意味しているではありません。

(2) 登録者本人のみ利用すること
一橋認証 ID は、登録者本人の利用に限られています。したがって、学内者・学外者を問わず他人へ、アカウントや、それにより利用可能なシステムのリソースを貸与してはいけません。パスワードは決して他人に教えてはいけません。

(3) 電子メールアドレスを偽らない
他人のアドレスを偽ってメールを出してはいけません。

(4) チェインメールを出してはいけません
多くの「このメールを回覧して下さい。」というメールは、同じ内容の電子メールを回覧させて、全世界のメールサーバーに負荷をかける遊びのために作られた「チェインメール」と呼ばれる、マナーに反したメッセージであり、内容自体は意味がないか嘘であることがほとんどです。従って「このメールを知人に回覧して下さい。」という文面のメールを受け取っても、その文面通り回覧してはいけません。

(5) 営利的利用の禁止
学内ネットワークまたは情報処理・教育システムを利用した営利行為、政治活動、宗教団体の活動してはいけません。

(6) 機能の悪用の禁止
センターの計算機環境では様々な機能を提供していますが、その機能を悪用したり機能の「穴」をつくなどして、他人のアカウント（パスワード）を盗んだり、ファイル容量の制限を超えてファイルを保持したりしてはいけません。

(7) 他人を中傷する行為、プライバシーを犯す行為の禁止
他人の氏名、住所、電話番号などの個人情報や本人の許可なく公開する、他人の所有するファイルを本人の許可なく閲覧することなどをしてはいけません。

(8) パスワードをきちんと管理すること
パスワードの管理は各自の責任で行って下さい。自分のパスワードが他人に知られることがないようにして下さい。

(9) 大きいサイズのメールを送る時の注意
電子メールで画像データなどを送ることが可能ですが、大きいサイズのデータを送るとネットワークに負荷がかかります。センターの計算機環境にかかわらず、送付先によっては一定量以上のデータを受け取らないところもあります。送付先に確かめてから送るようにしましょう。

(10) ウイルス対策の実施
大学のネットワークに個人の PC を接続する場合は必ずウイルス対策ソフトを導入してください。

関連情報

総務省「国民のための情報セキュリティサイト」
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/



一橋大学情報環境利用案内 (第7版)

2020年4月発行

一橋大学情報化統括本部

<https://cio.hit-u.ac.jp/ISMH>

一橋大学の学生のみなさん

サイバーセキュリティ対策していますか？

サイバーセキュリティ事故を防ぐには、各個人の心がけが最も重要です。サイバーセキュリティ対策を怠ると、被害者だけではなく加害者になってしまうこともあります。主要な対策項目を下に示します。

ID・パスワードをまもる

- パスワードを他人に教えない 不正アクセスされ、メールを勝手に読まれる、SNS を勝手に使われる、金銭を失うなどの恐れがあります。
- 他人に推測されにくいパスワードを設定する 英文字+数字で10文字以上。
- 使いまわさない 一つのサイトでパスワードが漏洩したら、別のサイトでも被害に。
- 離席時には PC の画面をロックする あなたのアカウントでログインしている PC からサイバー攻撃が発信されるかもしれません。
- 不審なウェブサイトで ID・パスワードを入力しない あなたのアカウントが狙われています。

PC・スマートフォンをまもる

- OS やアプリを常に最新状態にする 最新の OS・アプリは最新の脅威に対応しています。
- ウィルス定義ファイルを最新状態にする ウィルスは進化しています。
- メールの添付ファイルをむやみに開かない 差出人を確認しましょう。
- 非正規のアプリをインストールしない 違法なうえに、ウィルスが仕込まれている可能性があります。

2020年2月 情報化統括本部



国立大学法人

一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

【資料3】

平成2年3月27日

学生各位

情報化統括本部長

蜂谷 豊彦

一橋認証 ID 及びパスワードの管理について（注意喚起）

一橋認証 ID 及びパスワードを学外の他のシステムと同じにしたり、要求されるままに第三者が開発したアプリへ入力することは、アカウントの不正使用や個人情報流出などのリスクを高めることとなりますので大変危険です。また、本人に被害が及ぶだけでなく、一橋認証 ID を持つ者のみへの提供を前提に本学が契約・整備をしているシステム・サービスの不正利用やセキュリティリスク増大を招き、結果的に、これらシステム・サービスの停止や、他の本学構成員に関する情報漏えい等、本学の構成員全体に被害を及ぼす恐れもあります。

このような理由から、第三者に一橋認証 ID を利用させることは、本学情報セキュリティ関連規則の禁止事項に該当します。

本学を含む他大学に対応した「時間割アプリ」など、学生の利便性を図るとされているサービスが存在するとの情報がありますが、本学公式の「時間割アプリ」はありません。

本学が公式に契約や整備をしていない非公式のアプリやサービスは、その安全性が必ずしも保障されているものではなく、当該アプリやサービスに入力した ID やパスワードの流用や過失等による情報漏えいのリスクのほか、不正使用を目的とした悪意を持った開発者によるアプリが流通する可能性も高まりますので、一橋認証 ID やそのパスワード、個人情報の入力にはより一層の注意が必要です。

本学との公式な契約に基づいていない第三者が開発したアプリや非公式のサービスを使用した結果、不正使用や個人情報の流出が発生して被った損害について、本学は一切の責任を負いませんので留意して下さい。

（参考1）情報環境利用案内（抜粋）

◎情報基盤センターのシステム利用に関して

(2) 登録者本人のみ利用すること

一橋認証 ID は、登録者本人の利用に限られています。したがって、学内者・学外者を問わず他人へ、アカウントや、それにより利用可能なシステムのリソースを貸与してはいけません。パスワードは決して他人に教えてはいけません。

（参考2）一橋大学学生のための学内情報インフラガイドライン（抜粋）（「学生生活の手引き」に掲載）

（略）学生のみなさんは、以下の事項を遵守してください。

8. 学生証及び大学の認証ログイン（認証 ID）を第三者に譲渡または貸与しない。
9. パスワード及び大学の認証ログイン（認証 ID）を第三者に開示しない。